

国際機構法講義計画

教授 濱本 正太郎

<http://www.hamamoto.law.kyoto-u.ac.jp>

hamamoto@law.kyoto-u.ac.jp

I. テーマと目的

プロセスとしての international organization（国際社会の組織化）と被造物としての international organization（国際機構）との法的意義を検討することを通じて、国際関係を法的に把握する力を養成する。

II. 教材

教科書は使用しない。毎回の講義時に、予習のための資料を配付する。

特に本講義に有用な参考文献は、「便覧」に記した参考文献等の他、以下のものがある。

- ・外務省『国際機関総覧 2002 年版』（日本国際問題研究所、2002 年）
- ・国際法学会編『国際関係法辞典』（三省堂、1995 年）
- ・SIMMA (Bruno) et al. eds., *The Charter of the United Nations*, 2nd ed., Oxford, Oxford Univ.Pr., 2002.
- ・COT (Jean-Pierre) & PELLET (Alain), sous la direction de, *La Charte des Nations Unies*, 3^e éd., 2 vols., Paris, Economica, 2005.

本講義では、関連資料は基本的に英語で配布する。各種国際機構設立条約等を日本語で参照したい場合、

- ・香西茂・安藤仁介（編集代表）『国際機構条約・資料集』（東信堂、第 2 版、2002 年）

が便利である。

その他、国際機構法に関する文献資料の探し方一般については、上記ウェブサイトを参照されたい。

なお、1997 年までに日本語で発表された国際機構法に関する主要論文は、中村道「日本における国際機構法研究」国際法外交雑誌 96 巻 4・5 号(1997 年)に網羅されている。

III. 成績評価方法

「便覧」記載のとおり。

IV. オフィスアワー

木曜日 10:30-11:30 この時間は事前連絡なしに研究室に来て良い。
それ以外の時間に面会の必要がある場合は、e-mail で事前に連絡すること。

V. ウェブ掲示板

質問・議論のために、ウェブ掲示板を開設する。上記ウェブサイトの国際機構法ページにリンクを置く。ID は、講義時に伝える。

VI. 講義計画（「便覧」に記したものから変更されている）

第1部 導入

1. 歴史的展開 その1 第一次世界大戦まで
2. 歴史的展開 その2 国際連盟期
3. 歴史的展開 その3 国際連合の誕生
主要国際機構の概要

第2部 構造

4. 成立・消滅
5. 構成員
6. 機関

第3部 地位

7. 法人格
8. 特権免除
9. 責任

第4部 権限

10. 根拠・態様
11. 意思決定（政策決定）
12. 規範定立
13. 政策実施
14. 財政
15. 権限を巡る紛争の処理

第5部 活動

16. 平和と安全

17. 経済

18. 開発

19. 人権

20. 環境

21. 統治

第6部 地域

22. ヨーロッパ統合

23. ヨーロッパ連合の構造

24. ヨーロッパ共同体の特殊性

25. アジアにおける国際機構

第7部 総括

26. 国際連合憲章は国際社会の「憲法」か？

27. 国際機構の民主的正統性